

オープン講座のお知らせ

テーマ：あなたの望む介護サービス
～家族・そしてあなた自身の介護を考える～
講師：道民カレッジ講師 平井 照枝氏
日時：10月15日(土) 13時～15時 300円
成年後見人学習会ですが、たくさんの方のご参加を希望します。講師は介護の経験を通じてのお話をして下さいます。自分自身の事として、お勉強しましょう！

休止講座

- パークゴルフ 10月10日に懇親会。来春まで冬休みに入ります。
バス見学会 あしからずご了承ください。
男の料理 担当者多忙につきお休み
街なみ散策 講師多忙につきお休みします。
ガーデニング 5人以上の受講者を希望します。

出前講座 10月18日(火) 午前10:30～12:00

《高齢者の暮らしと住まいを考える》
9月に施設見学で見せて頂いたカーム入船の施設長峰田恵司さんにお話を伺います。

9月・10月・11月の予定

- 9月29日(木) ポイント食卓会
9月30日(金) ひだまりサロン
9月30日(金) 施設見学
お話を聞く会 9月28日
10月1日(土) フリーマーケット
10月6日(木) 生協取材・(後見センター)
10月10日(月) 体育の日休み
10月15日(土) オープン講座 [やさしい介護]
10月18日(火) 出前講座
テーマ高齢者住宅・カーム入船施設長
10月27日(木) 福岡・朝倉市議 10名来訪
10月29日(土) ポイント食卓会
お話を聞く会
10月3・5・12・17・19・24・26・31
11月9日(水) 甲府市議会 14名
11月30日(水) ポイント食卓会
お話を聞く会 11月2・7・9・14・16・21・23・28・30

市民後見人養成講座のお知らせ

今年度の、市民後見人養成講座が始まります。
基礎講座は、10月22日(土)23日(日)
余市町で行います。希望者は受講して下さい。
11月と12月に、引き続き実践講座を行います。会場は小樽市福祉センターになります。
過去に基礎講座を終えている方は受講できますので、予定に入れてください。
詳細は、事務局窓口までどうぞ。(事務局)

市民講座渡邊先生ありがとう！！

『「杜のつどい」で最後まで楽しい人生を送って欲しい。人は1人では生きられないのだから、感謝の心を持って人に愛される努力をすること。それには言葉と心と行動が大切、言葉ははっきりと、挨拶は先に、ほめ上手ほめられ上手になること、人の為になることは己の為になるのです』
75名の方にご参加いただきました。杜のつどいの活動があちこちであればいい、というお話でした。



健康祝う会の盛り上がり感謝して

今年の健康祝う会は、会員の活動(太極拳、お元気隊、コーラス、ひょっこ踊り)を中心にステージ発表を計画いたしました。「笑ったし楽しかった。元気を貰った。とてもいい会だった」という声もあり大変好評でした。また、景品にも多少予算を使わせて頂きましたので、抽選会中も「当たった」「誕生日でお花は嬉しい」など喜んだ声が四方八方から聞こえて、会場全体が盛り上がり、健康を祝う会にふさわしい催しとなりました。抽選会の景品を多くの方からご寄贈頂きました。皆様のご協力に感謝申し上げます。
ありがとうございました。 事業部

原発について思う

事業部長・片山 和子

私は、今まで原発について真剣に考えたことはなく、今回の福島原発でその危険性を初めて知った。国民に原発の真の問題点、危険性を知らせてこなかったことにも原因はあると思う。

今回の福島第一原発から出された放射性物質は、広島型の原爆よりはるかに多量であったと東大アイソトープ総合センター長の児玉龍彦氏は指摘している。また、今回の事故で福島県の子供の45%(甲状腺)が被爆していることも確認された。直ちに治療を要するものではないというが、5年後10年後はどうなるか不明である。もちろん健康調査は続けるであろうが…。更に、福島県の子供達は「外で遊ぶのに、自分で被爆線量を計って確かめないと不安だ。一生放射線に怯えながら暮らさなければならないのか」と案じているという。子供たちに酷な生活を強いている事に胸が痛む。

8月28日のNHKのスペシャル、「日本新生」という番組で視聴者から「安心できる未来を子供たちに託したい。あと始末のできない原発は使うべきでない。これだけ危険な原発をこのままにしておいてよいのか」など原発反対の意見が多数出され、自然エネルギーを求める声が70%であった。また、一部からは電力の安定供給、産業の発展、低炭素社会等を口実に原発を押し出す声も出ていた。

しかし、一旦事故が起これば人の命を危険にさらす原発。人の命より経済を優先させる社会になってほしくないと思う。福島原発事故後は日本だけでなく世界でも再生可能なエネルギーに関心が高まっている。日本は国土の7割が緑で、水力、風力、バイオマス等の発電にも適しているの、再生可能なエネルギー国になる条件は備えている。東京都も天然ガス発電所を東京湾に作ることを検討中であり、長野県飯田市、岩手県葛巻町などでは自然エネルギーによる町興しをしている。

また、日本の原発54基中41基が運転停止していたのに、この猛暑の夏を停電することもなく乗り越えられた。(15%の節電に国民や企業が協力したこともあるが)これらから考えても原発に頼らないエネルギー政策をどうするかについて真剣に考えれば原発廃止も不可能ではないと思う。100%安全な原発はないのだから、少し不便な暮らしになっても原発をなくすべきではないか。泊原発の傍に活断層があるともいわれているし、地震国日本のエネルギーをどうするかは避けてはおれないと思うが、皆さんはどうお考えですか。



杜のつどい事務局 小樽市稲穂2丁目 産業会館1「杜のひろば」

電話・FAX番号 22-0028

e-mail todoi-m@piano.ocn.ne.jp

